



**Hewlett Packard
Enterprise**

HPE InfoSight for servers

お使いになる前に

摘要

このガイドでは、HPE InfoSight for servers の前提条件とセットアップ手順について説明します。
本書は、サポートされている HPE サーバーを管理するシステム管理者を対象とします。

部品番号: P13433-192
発行: 2019 年 9 月
版数: 1

ご注意

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。Hewlett Packard Enterprise 製品およびサービスに対する保証については、当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、脱落に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。

本書で取り扱っているコンピューターソフトウェアは秘密情報であり、その保有、使用、または複製には、Hewlett Packard Enterprise から使用許諾を得る必要があります。FAR 12.211 および 12.212 に従って、商業用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアドキュメンテーション、および商業用製品の技術データ (Commercial Computer Software, Computer Software Documentation, and Technical Data for Commercial Items) は、ベンダー標準の商業用使用許諾のもとで、米国政府に使用許諾が付与されます。

他社の Web サイトへのリンクは、Hewlett Packard Enterprise の Web サイトの外に移動します。Hewlett Packard Enterprise は、Hewlett Packard Enterprise の Web サイト以外の情報を管理する権限を持たず、また責任を負いません。

商標

Intel[®]、Itanium[®]、Pentium[®]、Xeon[®]、Intel Inside[®]、および Intel Inside ロゴは、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。

Microsoft[®]および Windows[®]は、米国および/またはその他の国における Microsoft Corporation の登録商標または商標です。

Adobe[®]および Acrobat[®]は、米国 Adobe Systems Incorporated の登録商標です。

Java[®]および Oracle[®]は、Oracle および/またはその関連会社の登録商標です。

UNIX[®]は、The Open Group の登録商標です。

目次

概要.....	4
前提条件.....	6
HPE InfoSight for servers のセットアップ.....	8
プロセスの概要.....	8
iLO Amplifier Pack のセットアップ.....	9
初期登録の実行.....	9
VMware ESXi を使用した iLO Amplifier Pack のインストール.....	9
Windows Hyper-V マネージャーを使用した iLO Amplifier Pack のインストール.....	10
iLO Amplifier Pack の初期セットアップの実行.....	11
iLO Amplifier Pack のアクティブ化.....	12
iLO Amplifier Pack でのプロキシサーバーの構成.....	12
iLO Amplifier Pack によるサーバーの検出.....	12
HPE InfoSight の初回ログイン.....	16
HPE InfoSight でのクレームトークンの取得.....	16
HPE InfoSight と iLO Amplifier Pack のリンク.....	17
トラブルシューティング.....	20
iLO Amplifier Pack へのクレームトークンの追加を試みているが、トークンがすでに存在する.....	20
HPE InfoSight の接続のトラブルシューティング	20
Invalid midway or DNS address. Check the network settings and retry.....	20
Failed to establish connection to midway server. Check the network settings (Proxy/ DNS) and retry.....	21
Invalid proxy address.....	21
Failed to establish connection to proxy server. Verify the proxy settings.....	21
Service not running. Enable/Re-submit the InfoSight Settings.....	22
Not Registered.....	22
Web サイト.....	23
サポートと他のリソース.....	24
Hewlett Packard Enterprise サポートへのアクセス.....	24
アップデートへのアクセス.....	24
カスタマーセルフリペア (CSR)	25
リモートサポート (HPE 通報サービス)	25
保証情報.....	25
規定に関する情報.....	25
ドキュメントに関するご意見、ご指摘.....	26
IP アドレスの構成.....	27

概要

HPE InfoSight ポータルは、HPE がホストする安全な Web インターフェイスです。グラフィカルインターフェイスと予測デバイスサポートの自動化が提供されます。

HPE InfoSight は人工知能 (AI) を使用して環境を調査することで、操作を簡素化します。この調査は、サイトからデータを収集することで実行されます。データは、データセンターの自己管理、自己回復、および自己最適化を可能にするための基礎となります。

HPE はこの新しいデータパラダイムの先頭に立っています。10 年前、HPE はインフラストラクチャスタック全体にセンサーを搭載したシステムの設計を開始しました。収集された数兆のデータポイントを HPE InfoSight で分析できるため、お客様は収集されたデータからの大局的な学習によるメリットを得ることができます。AI はこのデータの能力を解放する鍵になります。

HPE InfoSight for servers:

- ・ HPE InfoSight の機械学習と予測分析を、Active Health System (AHS) および HPE iLO のヘルスおよびパフォーマンス監視と組み合わせて、パフォーマンスを最適化し、問題を予測して防止します
- ・ AHS からのセンサーデータとテレメトリデータを自動的に収集および分析し、インストールベースの動作から洞察を導き出して、問題の解決とパフォーマンスの向上に関する推奨事項を提供します
- ・ この最初のリリースは、時間の経過と共に拡張される基本の機能セットを提供します
- ・ Gen10、Gen9、および Gen8 HPE ProLiant サーバー、HPE BladeSystem サーバー、HPE Synergy コンピュータモジュール、および iLO 4 および iLO 5 を搭載する HPE Apollo システムをサポートします

iLO

iLO は、サポートされる HPE サーバーのシステムボードに内蔵されているリモートサーバー管理プロセスです。iLO では、リモートの場所からサーバーを監視および制御できます。iLO 管理は、サーバーをリモートで構成、更新、監視、および修復するための複数の方法を提供する強力なツールです。iLO について詳しくは、<https://www.hpe.com/servers/ilo> を参照してください。

Active Health System

AHS は、個人情報や、サーバーの操作によりサーバーに保存されたデータを収集することはありません。

AHS は以下の機能を提供します。

- ・ 数千を超えるシステムパラメーターの継続的なヘルス監視
- ・ すべての構成変更のログの取得
- ・ ヘルスおよびサービス通知の統合 (正確なタイムスタンプ付き)
- ・ アプリケーションのパフォーマンスに影響を与えないエージェントレスの監視

AHS は、ユーザーの経営、財務、顧客、従業員、またはパートナーに関する情報を収集しません。AHS について詳しくは、<https://www.hpe.com/servers/ahs> を参照してください。

iLO Amplifier Pack

iLO Amplifier Pack は、高度なサーバーインベントリおよびファームウェアおよびドライバーの更新ソリューションです。iLO Amplifier Pack は、iLO 機能を使用して高速検出、詳細なインベントリレポート、およびファームウェアとドライバーの更新を有効にします。iLO Amplifier Pack は、サポートされている数千台のサーバーの迅速な検出およびインベントリを実行し、ファームウェアとドライバーを更新します。iLO Amplifier Pack は、環境から収集したデータを HPE InfoSight に渡します。iLO Amplifier Pack について詳しくは、<https://www.hpe.com/servers/iLOAmplifierPack> を参照してください。

HPE パスポート

HPE InfoSight は、HPE パスポート認証サービスを使用して、安全な Web サイトへのユーザーアクセスを許可します。認証に成功すると、HPE InfoSight サービスにアクセスできます。デバイスにアクセスするには、クレームトークンを iLO Amplifier Pack システムに配置します。HPE パスポートアカウントがない場合は、<https://www.hpe.com/info/insightonline> に移動して指示に従ってください。

前提条件

各 HPE サーバーを HPE InfoSight で管理するための前提条件を以下に示します。

注記: iLO Amplifier Pack を使用してこれらの同じサーバーを管理している（たとえば、ファームウェアアップデートを実行している）場合、<http://www.hpe.com/support/ilo-ap-docs> にある iLO Amplifier ユーザーガイドを参照し、他の前提条件を確認してください。

サーバーサポート

iLO 4 および iLO 5 を搭載する以下のサーバーがサポートされます。

- ・ HPE ProLiant Gen8 以降のサーバー
- ・ HPE ProLiant BladeSystem Gen8 以降のサーバー
- ・ HPE Synergy Gen9 以降のコンピュートモジュール
- ・ HPE Apollo Gen8 以降のサーバー

iLO ファームウェア

- ・ iLO 4 ファームウェア 2.54 以降
- ・ iLO 5 ファームウェア 1.15 以降

注記: HPE では iLO 5 ファームウェア 1.40 をお勧めします。

- ・ iLO Amplifier Pack 1.30 以降

Agentless Management Service (AMS)

❗ **重要:** AMS がインストールされていない場合、HPE InfoSight はオペレーティングシステム/ハイパーバイザーまたはアプリケーションのクロススタック分析を提供できません。

- ・ Gen8 および Gen9 サーバー：
 - AMS 10.7.0 以降 (Windows)
 - AMS 2.6.1 以降 (Linux)
 - AMS 1.1.0 以降 (VMware ESXi)
- ・ Gen10 サーバー：
 - AMS 1.1.0 以降 (Windows)
 - AMS 1.1.0 以降 (Linux)
 - AMS 11.1.0 以降 (VMware ESXi)

必要な AMS ソフトウェアを取得する方法について詳しくは、<http://www.hpe.com/us/en/product-catalog/detail/pip.5219980.html> を参照してください。

iLO Amplifier Pack へのアクセスがサポートされているブラウザ

- ・ Google Chrome

バージョン 75.0 以降

- ・ Mozilla Firefox

バージョン 68.0 以降

iLO Amplifier Pack ホストマシンおよびゲスト仮想マシン

ホストマシンが、次のいずれかを実行するためのハードウェア要件を満たしていることを確認してください。

- ・ VMware ESXi Server 5.5 以降
- ・ Windows Server 2016 または Windows Server 2019 用の Windows ハイパーバイザー

iLO Amplifier Pack のゲスト VM では、次のリソースが ESXi サーバーおよび Windows Hyper-V で利用できる必要があります。

- ・ 4 vCPU
- ・ 8 GB の RAM
- ・ 100 GB の空きハードディスクドライブ領域
- ・ 1.0 Gbps のネットワークポート

注記: 2 つの 1.0 Gbps ネットワークポート（インターネット用に 1 つと管理ネットワーク用に 1 つ）を使用することをお勧めします。ただし、この両方のオプションで同じポートを使用できます。

HPE InfoSight for servers のセットアップ

プロセスの概要

このプロセスを使用し、HPE InfoSight for servers を使用してサポートされるデバイスを監視するための環境を設定します。各ステップのリンクをクリックすると、詳細な手順に移動します。

前提条件

- ・ 使用する環境が、このソフトウェアソリューションのコンポーネントを使用するための要件を満たしている。
ハードウェアとインストールされているファームウェアおよびソフトウェアが最小要件を満たしていることを確認します。
- ・ HPE パスポートアカウントがある。HPE パスポートアカウントがない場合は、<https://infosight.hpe.com/>の Web サイトで HPE パスポートアカウントを作成し、ログイン認証情報を書き留めます。

手順

1. 初期登録の実行。

登録時にダウンロードリンクとアクティベーションキーを受け取ります。

2. VMware ESXi を使用した iLO Amplifier Pack のインストール。

このプロセスでは、iLO Amplifier Pack ファイルのダウンロードとインポート、VM の初回の起動を行います。

3. iLO Amplifier Pack の初期セットアップの実行。

このプロセスでは、ネットワーク設定および管理者アカウントを構成します。



ヒント: ようこそ画面が表示されたら、iLO Amplifier Pack 管理アプライアンスの IP アドレスを書き留めます。

4. iLO Amplifier Pack のアクティブ化。

このステップでは、管理アプライアンスにログインし、ライセンスキーを入力します。

5. オプション : iLO Amplifier Pack でのプロキシサーバーの構成。

6. iLO Amplifier Pack によるサーバーの検出。

このステップでは、iLO Amplifier Pack による管理用のデバイスを追加します。

7. HPE InfoSight の初回ログイン。

このステップでは、HPE パスポートアカウントを HPE InfoSight に接続します。

8. HPE InfoSight でのクレームトークンの取得。



ヒント: iLO Amplifier Pack へのクレームトークンの追加準備ができたなら、クレームトークンを取得します。クレームトークンを作成する場合、クレームトークンをクリップボードにコピーして、iLO Amplifier Pack に直ちに貼り付けることをお勧めします。

9. iLO Amplifier Pack へのクレームトークンの追加。

このステップでは、iLO Amplifier Pack と HPE InfoSight 間の通信リンクを作成します。

iLO Amplifier Pack のセットアップ

初期登録の実行

前提条件

アクティベーションキーを受信するためのメールアドレスが有効であること。

手順

1. iLO Amplifier Pack 登録 Web ページ (<http://www.hpe.com/downloads/iloamplifierpack>) にアクセスします。
2. 氏名とメールアドレスを入力します。
3. 登録するサーバーライセンスの数を選択します。
4. 会社名、市区町村、都道府県、国/地域、および勤務先電話番号を入力します。
5. 将来、HPE のサービスやイベントニュースに関するメールや電話を希望する場合は、**Email** または **Phone** チェックボックスを選択します。
6. HPE ソフトウェア利用規約を読み、チェックボックスを選択します。
7. **Register** をクリックします。

ライセンス登録が成功したことを示すメッセージが登録ページに表示され、HPE から以下の情報を含むメールが送信されます。

- ・ アプライアンスのインストールイメージをダウンロードするためのリンク
- ・ アクティベーションキー

VMware ESXi を使用した iLO Amplifier Pack のインストール

前提条件

- ・ ダウンロードリンクとアクティベーションキーを含む HPE からの登録電子メール
- ・ VMware ESXi 5.5 以降で構成されたホストサーバー
- ・ 使用可能な最小 RAM が 8GB で VMware vSphere Client またはサポートされている Web ブラウザーがインストールされているノートパソコンまたはデスクトップシステム

手順

1. ライセンス登録メールの該当するダウンロードリンクをクリックして、ova ファイルを含む zip ファイルをダウンロードします。
2. `iLOAmplifierPack_1.40.zip` と対応するチェックサムファイルをダウンロードして保存します。

注記: 適切なチェックサム検証ツールを使用して、ダウンロードしたファイルの完全性を検証します。

3. zip ファイルから `iLOAmpPack_1.40_vmware.ova` を抽出します。
4. VMware vSphere Client またはサポートされている Web ブラウザーを使用して、任意の VMware ESXi サーバー（5.5 以降）に接続します。

5. 次のいずれかを実行します。

- ・ VMware vSphere Client を使用している場合は、**File** をクリックし、**Deploy OVF Template** をクリックして、画面に表示される手順に従います。
- ・ Web ブラウザーを使用している場合は、**Create/Register VM** をクリックし、**Deploy a virtual machine from an OVF or OVA file** をクリックして、画面に表示される手順に従います。

注記: HPE では、VM のデプロイオプションを構成するとき、「Thick」ディスクプロビジョニングを選択することをお勧めします。

6. イメージがインポートされたら、VM の電源を入れます。

VM は起動に時間がかかる場合があります。DHCP がサポートされない場合、起動に最大 5 分かかる場合があります。

VM の再起動後、コンソールに初期セットアップ画面が表示されます。

Windows Hyper-V マネージャーを使用した iLO Amplifier Pack のインストール

前提条件

- ・ ダウンロードリンクとアクティベーションキーを含む HPE からの登録電子メール
- ・ 使用可能な最小 RAM が 8GB で Hyper-V マネージャーがインストールされたラップトップまたはデスクトップシステム

手順

1. ライセンス登録メールの該当するダウンロードリンクをクリックして、Hyper-V マネージャーの zip ファイルをダウンロードします。
2. `iLOAmplifierPack_1.40_HyperV.zip` と対応するチェックサムファイルをダウンロードして保存します。

注記: 適切なチェックサム検証ツールを使用して、ダウンロードしたファイルの完全性を検証します。

3. zip ファイルから `iLOAmplifierPack` フォルダを抽出します。
4. Hyper-V マネージャーで、**Actions > Import virtual machine** に移動し、先ほど抽出した `iLOAmplifierPack` という名前のフォルダを選択します。

! **重要:** **New** アクションを使用して新しい仮想マシンを作成しないでください。

5. 画面に表示される指示に従って、仮想マシンをセットアップします。

注記: 同じイメージ名の仮想マシンがすでに存在する場合、**インポートの種類**の選択ステップで Hyper-V マネージャーの画面にエラーが表示されます。**仮想マシンをコピーする** (新しい一意な ID を作成する) オプションを選択して続行してください。

6. イメージがインポートされたら、VM の電源を入れます。

VM は起動に時間がかかる場合があります。DHCP がサポートされない場合、起動に最大 5 分かかる場合があります。

VM の再起動後、コンソールに初期セットアップ画面が表示されます。

iLO Amplifier Pack の初期セットアップの実行

前提条件

- ・ iLO Amplifier Pack OVF によって展開された VM。
- ・ VM の再起動が完了している。
- ・ Welcome 画面がコンソールに表示されている。

手順

1. Welcome 画面で、**Initial Setup** をクリックします。
2. EULA（エンドユーザー使用許諾契約書）を読み、**Accept** をクリックします。
3. 次のネットワーク設定を入力し、**Next** をクリックします。矢印キーを使用して、設定間を移動し、Enter を使用して、選択した設定を変更します。
 - a. 必要に応じて、NIC 1、NIC 2、または両方を有効にします。
 - b. オプション：DHCPv4 または DHCPv6 を有効または無効にします。DHCP が無効の場合、以下を入力してください。
 - I. 静的な IPv4 または IPv6 アドレスを入力します。
 - II. IPv4 構成の場合はサブネットマスクを、IPv6 構成の場合はプレフィックス長を入力します。
 - III. デフォルトゲートウェイを入力します。
 - c. 管理ネットワークポートを選択します。NIC 1 は、デフォルトで選択されています。
 - d. オプション：プライマリの IPv4 または IPv6 DNS サーバーを入力します。
 - e. オプション：セカンダリの IPv4 または IPv6 DNS サーバーを入力します。
4. タイムゾーンおよび NTP 設定を変更するか、デフォルトを受け入れ、**Next** をクリックします。
5. 表示名とパスワードを入力して管理者アカウントをセットアップし、**Finish** をクリックします。

ここで入力するユーザー名とパスワードは、初期の管理者アカウントをセットアップするために使用する認証情報です。初期セットアップが完了したら、iLO Amplifier Pack 管理設定を使用してユーザーを追加できます。
6. 指示が表示されたら **Reboot** をクリックします。

システムが再起動し、Welcome 画面が表示され、iLO Amplifier Pack 管理アプライアンスの IP アドレスが表示されます。

iLO Amplifier Pack のアクティブ化

前提条件

再起動された VM への iLO Amplifier Pack のインストール。

手順

1. VM コンソールの welcome 画面に示されている IP アドレスにアクセスします。
2. 初期ユーザーアカウントのセットアップ時に入力した認証情報を使用して、iLO Amplifier Pack マネジメントアプライアンスにログオンします。
3. プロンプトが表示されたら、登録電子メールからアクティブ化キーをコピーして、**License Key** フィールドに貼り付けます。
4. **Activate** をクリックします。

iLO Amplifier Pack 管理ダッシュボードが表示されます。

iLO Amplifier Pack でのプロキシサーバーの構成

プロキシサーバーを使用する場合、iLO Amplifier Pack と HPE InfoSight が通信するように iLO Amplifier Pack でプロキシサーバーを構成する必要があります。

- ❗ **重要:** プロキシサーバーを使用しない場合は、**IP アドレスの構成**を参照し、サイトと HPE InfoSight for servers 間の通信のために開く必要がある IP アドレスのリストを確認してください。

サイトでプロキシサーバーを使用しない場合は、この手順を省略できます。

手順

1. 左側のナビゲーションメニューで **Configuration and Settings** をクリックし、**Network Settings** をクリックします。
2. **Proxy Configuration** タブをクリックします。
3. **Enable Proxy** チェックボックスをクリックして選択します。
4. <proxy server>の形式で **Proxy Servername** を入力します。
5. **Port number** を入力します。
6. オプション: クリックして **Enable Secure Proxy Connection** チェックボックスを選択します。
7. オプション: **Username** および **Password** を入力してプロキシ認証を有効にします。
8. **Save** をクリックして設定を保存します。 **Reboot** をクリックしてシステムを再起動します。

iLO Amplifier Pack によるサーバーの検出

Discovery ページからの単一のサーバーの追加

前提条件

- ・ ユーザーの権限

- Configure Manager with Security
- Configure Manager
- Configure User
- Configure Devices
- ・ iLO 4 バージョン 2.30 以降が搭載された HPE Gen8 または Gen9 サーバー
- ・ iLO 5 バージョン 1.10 以降が搭載された HPE Gen10 サーバー

手順

1. 左側のナビゲーションメニューから **Discovery** をクリックします。
2. **Add Server** セクションに次の情報を入力します。
 - ・ **iLO IP Address** - iLO の IPv4 または IPv6 アドレスまたは FQDN（完全修飾ドメイン名）。
 - ・ **Username** - サーバー上の iLO アカウントのユーザー名。
 - ・ **Password** - 指定した iLO ユーザーアカウントのパスワード。
 - ・ **Server group name (Optional)** - サーバーが所属するサーバーグループを選択します。
3. **Add** をクリックします。
iLO Amplifier Pack がサーバーの検出およびインベントリプロセスを開始します。
4. オプション: ナビゲーションツリーで **Assets** をクリックし、**Servers** をクリックして、追加したサーバーのステータスを表示します。

Discovery ページからの iLO 連携グループの追加

前提条件

注記: iLO 連携の要件について詳しくは、iLO 連携のユーザーガイド (http://www.hpe.com/support/ilo4_federation_ug_ja) を参照してください。

- ・ ユーザーの権限
 - Configure Manager with Security
 - Configure Manager
 - Configure User
 - Configure Devices
- ・ 専用の iLO NIC が搭載された HPE Gen8、Gen9、または Gen10 サーバーで構成されている既存の iLO 連携グループ。サーバーが NIC ポートを共有する場合、iLO 連携はサポートされません。
- ・ iLO 連携設定の以下のマルチキャスト設定により、すべてのサーバーで iLO 連携が有効になっている。

注記: メニューオプションは、Gen8/Gen9 および Gen10 で異なります。

- すべてのサーバーで iLO 連携管理およびマルチキャスト検出が有効になっている
- **Multicast Announcement Interval** が **30 seconds** に設定されている

- **IPv6 Multicast Scope** が **Site** に設定されている
- **Multicast TTL** が **255** に設定されている

手順

1. 左側のナビゲーションメニューから **Discovery** をクリックします。
2. **Add iLO Federation Group** セクションで、以下の情報を入力します。
 - ・ **iLO IP Address** - iLO 連携グループのサーバーの IPv4 アドレス。
 - ・ **Username** - 指定したサーバー上の iLO アカウントのユーザー名。
 - ・ **Password** - 指定した iLO ユーザーアカウントのパスワード。
3. **Add** をクリックします。

指定した iLO システムが複数の iLO 連携グループのメンバーである場合、iLO Amplifier Pack は検出対象のグループを選択するよう求めます。
4. グループを選択して、**OK** をクリックします。
5. オプション：ナビゲーションツリーで **Assets** をクリックし、**iLO Federation Groups** をクリックして、追加したグループのステータスを表示します。

追加したグループ内の個々のサーバーのステータスを表示するには、ナビゲーションツリーで **Assets**、**Servers** をクリックして、**Filters** メニューから **iLO Federation Groups** をクリックし、グループ名をクリックします。

IPv4 アドレス範囲でのサーバーの追加

前提条件

- ・ ユーザーの権限
 - Configure Manager with Security
 - Configure Manager
 - Configure User
 - Configure Devices
- ・ iLO 4 バージョン 2.30 以降が搭載された HPE Gen8 または Gen9 サーバー
- ・ iLO 5 バージョン 1.10 以降が搭載された HPE Gen10 サーバー

手順

1. 左側のナビゲーションメニューの **Discovery** をクリックします。
2. **Add IPv4 Range** セクションに次の情報を入力します。
 - ・ **iLO IP Range** - 範囲の開始および終了 IP アドレス。
 - ・ **SSL Port** - iLO と通信するために使用される SSL ポート。
 - ・ **Username** - サーバー上の iLO アカウントのユーザー名。

- ・ **Password** - サーバー上の iLO アカウントのパスワード。

注記: IPv4 範囲内のすべてのサーバーに共通する認証情報を使用します。

- ・ **Server group name (Optional)** - サーバーが所属するサーバーグループを選択します。

3. **Add** をクリックします。

指定したユーザーアカウントを含む、IPv4 範囲内のサーバーが検出され、インベントリが作成されます。

指定したユーザーアカウントがない、IPv4 範囲内のサーバーは、非管理対象サーバーとして追加されません。非管理対象サーバーのユーザーアカウント認証情報を追加するには、iLO Amplifier Pack ユーザーガイドを参照してください。

- ### 4. オプション: ナビゲーションツリーで **Assets** をクリックし、**Servers** をクリックして、追加したサーバーのステータスを表示します。

CSV ファイルからのサーバーの追加

前提条件

- ・ ユーザーの権限
 - Configure Manager with Security
 - Configure Manager
 - Configure User
 - Configure Devices
- ・ iLO 4 バージョン 2.30 以降が搭載された HPE Gen8 または Gen9 サーバー
- ・ iLO 5 バージョン 1.10 以降が搭載された HPE Gen10 サーバー
- ・ 以下を含む CSV ファイルの場所:

- 次の形式でのサーバーのリスト

<iLO IPv4 or IPv6 addresses or FQDN>, <iLO username>, <iLO password>

- ヘッダーなし
- iLO IP アドレスまたは FQDN およびユーザー名フィールド内に空白なし
- 49 文字を超えていない iLO FQDN アドレス

Discovery ページで **SampleFile.csv** をクリックし、正しい書式の CSV ファイルのサンプルを参照してください。

手順

1. 左側のナビゲーションメニューで **Discovery** をクリックします。
2. **Add from a file** セクションで、**Choose File** をクリックし、使用する CSV ファイルを選択します。
3. オプション: サーバーが所属するサーバーグループを選択します。
4. **Upload** をクリックします。

iLO Amplifier Pack がファイルを処理し、検出およびインベントリプロセスを開始します。

5. オプション: ナビゲーションツリーで **Assets** をクリックし、**Servers** をクリックして、追加したサーバーのステータスを表示します。

HPE InfoSight の初回ログイン

デフォルトでは、組織の最初に登録されたユーザーが管理者として作成されます。

注記: 同じパスポートアカウントを使用してすべての iLO Amplifier Pack インスタンスのすべてのサーバーを表示する場合は、後続の iLO Amplifier Pack インスタンスで同じクレームトークンを使用します。

クレームトークンの有効期間は限られています。同じパスポートアカウントを使用して後続の iLO Amplifier Pack インスタンスを表示できるようにするには、同じパスポートユーザーアカウントで作成された後続のクレームトークンを使用することもできます。

手順

1. HPE パスポートアカウントを使用して <https://infosight.hpe.com> にログインします。
 - a. 初めてログインするときは、HPE パスポートアカウントに関連付けられたメールアドレスにメールが送信されます。
 - b. 自分のメールアドレスにアクセスし、HPE InfoSight への招待メールを開きます。
 - c. HPE InfoSight とのメール通信が正常に実行されたことを確認し、ログインするには、**HPE Passport** をクリックします。
HPE InfoSight Terms Of Use が表示されます。
 - d. **Accept** をクリックします。**Welcome to InfoSight** ページが開きます。
2. **Register Servers** を選択します。**My Organization** ページが表示されます。
3. 組織名を入力します。
Device Enrollment ページが開きます。

混乱を避けるため、組織の名前は紛らわしくないものにしてください。Hewlett Packard Enterprise では、次の表記を推奨します。会社名または会社名-サブ組織。

必要な場合は、登録済みのサーバーまたはユーザーに影響を与えることなく、後で組織の名前を変更できます。詳しくは、HPE InfoSight for servers ユーザーガイド (<https://www.hpe.com/support/infosight-servers-docs>) を参照してください。

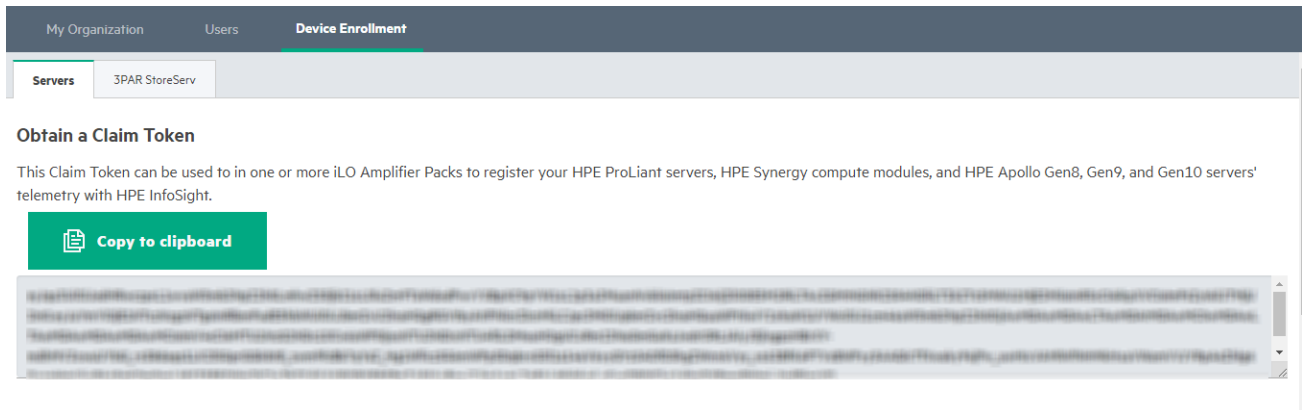
この組織には、HPE InfoSight で監視するすべてのサーバー装置が含まれます。
4. HPE InfoSight でサーバーを検出し、監視するには、クレームトークンを取得し、iLO Amplifier Pack でトークンをリンクします。
詳しくは、[クレームトークンの取得](#)を参照してください。

HPE InfoSight でのクレームトークンの取得

AHS とハートビート情報を HPE InfoSight に送信するには、HPE InfoSight でクレームトークンを作成して iLO Amplifier Pack に提供し、iLO Amplifier Pack を HPE InfoSight とリンクする必要があります。クレームトークンが入力され、検証されると、すべての監視対象サーバーの HPE InfoSight にデータが自動的に送信されます。

注記: クレームトークンは、クレームトークンを iLO Amplifier Pack にコピーアンドペーストする程度の短時間での利用に適していますが、後で使用するためにトークンを保存するような長時間での利用には適していません。次の場合には、新しいクレームトークンを生成して登録する必要があります。

- ・ iLO Amplifier Pack と HPE InfoSight をリンクしている :
- ・ 単一の場所または複数の場所に iLO Amplifier Pack のインスタンスが複数ある
- ・ クレームトークンが有効ではなくなったというエラーを受信した



前提条件

- ・ HPE パスポートアカウント
- ・ HPE InfoSight 管理ユーザーアカウント

手順

1. <https://infosight.hpe.com/app/login> にある HPE InfoSight ログインページにアクセスします。
2. HPE パスポートアカウントの認証情報を使用してログインします。
3. **Settings** アイコンをクリックして、**Servers** の下で、**My Organization** を選択します。
生成されたクレームトークンはこのページに表示されます。
4. **Device Enrollment** を選択します。
5. **Copy to clipboard** をクリックします。
6. iLO Amplifier Pack にログインし、**iLO Amplifier Pack へのクレームトークンの追加手順**を完了します。

HPE InfoSight と iLO Amplifier Pack のリンク

注記: トークンがすでに存在するため iLO Amplifier Pack へのクレームトークンの追加で問題が発生した場合は、**iLO Amplifier Pack へのクレームトークンの追加を試みているが、トークンがすでに存在する**を参照してください。

前提条件

- ・ ユーザーの権限

- Configure Manager with Security。
- Configure Manager。
- ・ iLO Amplifier Pack が HPE InfoSight for servers に接続できるように設定された DNS。
- ・ ファイアウォールから HPE InfoSight for servers へのアウトバウンド接続が許可されていること。
- ・ プロキシ設定（必要な場合）。

The screenshot shows the HPE InfoSight setup page. The top navigation bar includes 'Hewlett Packard Enterprise', the date 'Tue Sep 10 2019 15:19:02 GMT +0530', 'System Up-to-date', and 'Local User: admin'. The left sidebar contains various menu items, with 'InfoSight Setup' highlighted. The main content area is titled 'HPE InfoSight' and features a green banner stating 'Connected to HPE InfoSight'. Below this, there is a registration form with the following fields and options:

- Registration:**
 - Enable Service
 - Claim Token:
 - Data Center Location:
 - Claim Token ID:
 - Tenant Name:
 - Serial Number:
- Daily AHS Logs Collection:**
 - Enable Daily AHS Logs Collection
 - Daily AHS Logs Collection Start Time: (24 hours format)

At the bottom of the form, there are two checkboxes for terms and conditions:

- I Agree to the terms and conditions of HPE InfoSight.
- I Agree to send iLO hostname, IP address and server hostname to display in HPE InfoSight.

 The footer of the page contains the copyright notice 'Copyright © 2018-2019 Hewlett Packard Enterprise. All rights reserved.' and the version 'iLO Amplifier Pack Version 1.50'.

手順

1. iLO Amplifier Pack にログインします。
2. 左側のナビゲーションメニューで HPE InfoSight をクリックし、次に **InfoSight Setup** をクリックします。
3. **Claim Token** および **Data Center Location** エントリーフィールドを有効にするには、**Enable service** を選択します。
4. HPE InfoSight の Web サイトで生成されたクレームトークンを入力します。
5. データセンターの場所を入力します。
6. HPE に送信される診断情報に関する使用条件を読み、同意します。
オプション：適切なチェックボックスを選択して、iLO ホスト名、サーバーホスト名、および iLO IP アドレスをハートビートファイルの一部として HPE InfoSight に送信するように選択できます。
7. オプション：**Daily AHS Logs Collection Start Time** エントリーフィールドを有効にするには、24 時間形式でカスタムの時間値を入力して、AHS ファイルの日次送信を自動的にスケジュールしてから、**Enable Daily AHS Logs Collection** を選択します。
8. オプション：HPE に送信されるハートビートファイル、AHS テレメトリ、ファームウェアテレメトリ、AHS ファイルのサンプルファイルについて詳しく調べるには、リンクをクリックします。

注記: AHS ログの最大ファイルサイズ制限は 250 MB です。ログが 250 MB より大きい場合は、HPE サポートセンターにお問い合わせください。

9. iLO Amplifier Pack と HPE InfoSight をリンクするには、**Confirm** をクリックします。
10. HPE InfoSight の接続ステータスは、ページの上にあるメッセージに表示されます。リンクに成功すると、次の詳細情報がページに表示されます。
 - ・ **Claim Token ID**
 - ・ **Tenant Name**
 - ・ **Serial number**
11. iLO Amplifier Pack と HPE InfoSight のリンクを解除する必要がある場合は、**Enable service** チェックボックスをクリアし、**Confirm** をクリックします。
12. オプション : iLO Amplifier Pack と `infosight.hpe.com` および `midway.ext.hpe.com` サーバー間の接続をテストするには、**Test Connection** をクリックします。

接続エラーメッセージの解決方法について詳しくは、iLO Amplifier Pack ユーザーガイドを参照してください。

正常に接続するための IP アドレスの設定方法について詳しくは、**IP アドレスの構成**を参照してください。

トラブルシューティング

iLO Amplifier Pack へのクレームトークンの追加を試みているが、トークンがすでに存在する

症状

iLO Amplifier Pack へのクレームトークンの追加を試みているが、iLO Amplifier Pack にトークンがすでに存在します。

原因

iLO Amplifier Pack は 1 つの HPE InfoSight for servers 組織にのみ関連付けることができます。

アクション

他のクレームトークンを追加するには、iLO Amplifier Pack の別のインスタンスが必要です。iLO Amplifier Pack へのクレームトークンの追加について詳しくは、[iLO Amplifier Pack へのクレームトークンの追加](#)を参照してください。

HPE InfoSight の接続のトラブルシューティング

ユーザーは **InfoSight Registration** ページの **Test Connection** ボタンを使用して、iLO Amplifier Pack と `infosight.hpe.com` サーバーおよび `midway.ext.hpe.com` サーバーの間の接続をテストできます。iLO Amplifier Pack が HPE InfoSight に正常に接続できない場合、エラーメッセージ付きのバナーが HPE InfoSight 登録ページの上部に表示されます。このセクションは、これらのエラーを解決し、HPE InfoSight への正常な接続を確立するのに役立ちます。それでもこれらのエラーを解決できない場合は [HPE サポート](#)にお問い合わせください。

Invalid midway or DNS address. Check the network settings and retry.

症状

iLO Amplifier Pack 登録ページに「Invalid midway or DNS address. Check the network settings and retry (Midway または DNS アドレスが無効です。ネットワーク設定を確認して再試行してください)」というエラーメッセージが表示されます。

原因

iLO Amplifier Pack が Midway サーバーに接続できないか、DNS アドレスを解決できません。

アクション

iLO Amplifier Pack v1.50 ユーザーガイドでネットワーク設定の構成を確認して、適切な DNS 設定が使用されていること、および iLO Amplifier アプライアンスが Midway サーバーに接続できることを確認してください。

ファイアウォールを使用している場合は、iLO Amplifier Pack アプライアンスによる接続に制限が適用されていないことを確認してください。

Failed to establish connection to midway server. Check the network settings (Proxy/DNS) and retry

症状

iLO Amplifier Pack 登録ページに「Failed to establish connection to midway server. Check the network settings (Proxy/DNS) and retry (Midway サーバーとの接続を確立できませんでした。ネットワーク設定 (Proxy/DNS) を確認して再試行してください)」というエラーメッセージが表示されます。

原因

ネットワーク設定が正しく構成されていない可能性があるため、iLO Amplifier Pack は Midway サーバーに接続できません。

アクション

プロキシネットワークを使用している場合は、iLO Amplifier Pack v1.50 ユーザーガイドでプロキシ設定の構成を確認して、それらが正しく構成されていることを確認します。iLO Amplifier Pack v1.50 ユーザーガイドでネットワーク設定の構成を確認して、適切な DNS 設定が使用されていること、および iLO Amplifier Pack アプライアンスが Midway サーバーに接続できることを確認してください。ファイアウォールを使用している場合は、iLO Amplifier Pack アプライアンスによる接続に制限が適用されていないことを確認してください。

Invalid proxy address

症状

InfoSight Setup ページか System Update ページに「Invalid proxy address (無効なプロキシアドレス)」というエラーメッセージが表示されます。

原因

プロキシ設定が正しく構成されていません。

アクション

プロキシネットワークを使用している場合は、iLO Amplifier Pack v1.50 ユーザーガイドでプロキシ設定の構成を確認して、それらが正しく構成されていることを確認します。

Failed to establish connection to proxy server. Verify the proxy settings

症状

iLO Amplifier Pack 登録ページに「Failed to establish connection to proxy server. Verify the proxy settings (プロキシサーバーへの接続を確立できませんでした。プロキシ設定を確認してください)」というエラーメッセージが表示されます。

原因

プロキシ設定が正しく構成されていません。

アクション

プロキシネットワークを使用している場合は、iLO Amplifier Pack v1.50 ユーザーガイドでプロキシ設定の構成を確認して、それらが正しく構成されていることを確認します。

Service not running. Enable/Re-submit the InfoSight Settings.

症状

InfoSight Setup ページに「Service not running. Enable/Re-submit the InfoSight Settings (サービスが実行していません。InfoSight 設定を有効化/再送信してください)」というエラーメッセージが表示されます。

原因

iLO Amplifier Pack は Midway サーバーに接続できません。

アクション

iLO Amplifier Pack v1.50 ユーザーガイドでネットワーク設定の構成を確認して、適切な DNS 設定が使用されていること、および iLO Amplifier アプライアンスが Midway サーバーに接続できることを確認してください。プロキシネットワークを使用している場合は、iLO Amplifier Pack v1.50 ユーザーガイドでプロキシ設定の構成を確認して、それらが正しく構成されていることを確認します。ファイアウォールを使用している場合は、iLO Amplifier Pack アプライアンスによる接続に制限が適用されていないことを確認してください。

Not Registered

症状

InfoSight Setup ページに「Not Registered (登録されていません)」というエラーメッセージが表示されません。

原因

HPE InfoSight サービスが稼働していません。

アクション

HPE InfoSight for servers の Web ページから新しいクレームトークンを取得し、再び iLO Amplifier Pack を HPE InfoSight for servers にリンクします。

詳しくは [HPE InfoSight でのクレームトークンの取得](#) および [HPE InfoSight と iLO Amplifier Pack のリンク](#) を参照してください。

Web サイト

製品の Web サイト

HPE InfoSight のログイン

<https://infosight.hpe.com>

HPE InfoSight

<https://www.hpe.com/info/infosight>

HPE InfoSight for servers

<https://www.hpe.com/servers/infosight>

HPE InfoSight for servers ドキュメント

<https://www.hpe.com/support/infosight-servers-docs>

iLO Information Library

iLO 4 および iLO 5

<http://www.hpe.com/info/ilo/docs>

iLO Amplifier Pack

<http://www.hpe.com/support/ilo-ap-docs>

HPE ProLiant Servers Information Library

HPE ProLiant Gen8 サーバー

<http://www.hpe.com/info/proliantgen8/docs>

HPE ProLiant Gen9 サーバー

<http://www.hpe.com/support/proliantgen9/docs>

HPE ProLiant Gen10 サーバー

<http://www.hpe.com/support/proliantgen10/docs>

HPE ProLiant Gen 10 および HPE Synergy コンピュータモジュールのトラブルシューティング

<http://www.hpe.com/info/Gen10-troubleshooting>

全般

Hewlett Packard Enterprise Information Library

<http://www.hpe.com/info/EIL>

サポートと他のリソース

Hewlett Packard Enterprise サポートへのアクセス

- ・ ライブアシスタンスについては、Contact Hewlett Packard Enterprise Worldwide の Web サイトにアクセスします。

<http://www.hpe.com/info/assistance>

- ・ ドキュメントとサポートサービスにアクセスするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの Web サイトにアクセスします。

<http://www.hpe.com/support/hpesc>

ご用意いただく情報

- ・ テクニカルサポートの登録番号（該当する場合）
- ・ 製品名、モデルまたはバージョン、シリアル番号
- ・ オペレーティングシステム名およびバージョン
- ・ ファームウェアバージョン
- ・ エラーメッセージ
- ・ 製品固有のレポートおよびログ
- ・ アドオン製品またはコンポーネント
- ・ 他社製品またはコンポーネント

アップデートへのアクセス

- ・ 一部のソフトウェア製品では、その製品のインターフェイスを介してソフトウェアアップデートにアクセスするためのメカニズムが提供されます。ご使用の製品のドキュメントで、ソフトウェアの推奨されるソフトウェアアップデート方法を確認してください。
- ・ 製品のアップデートをダウンロードするには、以下のいずれかにアクセスします。

Hewlett Packard Enterprise サポートセンター

<http://www.hpe.com/support/hpesc>

Hewlett Packard Enterprise サポートセンター：ソフトウェアのダウンロード

<http://www.hpe.com/support/downloads>

Software Depot

<http://www.hpe.com/support/softwaredepot>

- ・ eNewsletters およびアラートをサブスクライブするには、以下にアクセスします。

<http://www.hpe.com/support/e-updates>

- ・ お客様の資格を表示、アップデート、または契約や保証をお客様のプロファイルにリンクするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの **More Information on Access to Support Materials** ページに移動します。

<http://www.hpe.com/support/AccessToSupportMaterials>

- ❗ **重要:** 一部のアップデートにアクセスするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターからアクセスするときに製品の製品資格が必要になる場合があります。関連する資格を使って HPE パスポートをセットアップしておく必要があります。

カスタマーセルフリペア (CSR)

Hewlett Packard Enterprise カスタマーセルフリペア (CSR) プログラムでは、ご使用の製品をお客様ご自身で修理することができます。CSR 部品を交換する必要がある場合、お客様のご都合のよいときに交換できるよう直接配送されます。一部の部品は CSR の対象になりません。Hewlett Packard Enterprise もしくはその正規保守代理店が、CSR によって修理可能かどうかを判断します。

リモートサポート (HPE 通報サービス)

リモートサポートは、保証またはサポート契約の一部としてサポートデバイスでご利用いただけます。リモートサポートは、インテリジェントなイベント診断を提供し、ハードウェアイベントを Hewlett Packard Enterprise に安全な方法で自動通知します。これにより、ご使用の製品のサービスレベルに基づいて、迅速かつ正確な解決が行われます。ご使用のデバイスをリモートサポートに登録することを強くおすすめします。

ご使用の製品にリモートサポートの追加詳細情報が含まれる場合は、検索を使用してその情報を見つけてください。

リモートサポートおよびプロアクティブケア情報

HPE 通報サービス

<http://www.hpe.com/jp/hpalert>

HPE プロアクティブケアサービス

<http://www.hpe.com/services/proactivecare-ja>

HPE プロアクティブケアサービス：サポートされている製品のリスト

<http://www.hpe.com/services/proactivecaresupportedproducts>

HPE プロアクティブケアアドバンスドサービス：サポートされている製品のリスト

<http://www.hpe.com/services/proactivecareadvancedsupportedproducts>

保証情報

ご使用の製品の保証に関する情報を表示するには、以下のリンクを参照してください。

HPE ProLiant と IA-32 サーバーおよびオプション

<http://www.hpe.com/support/ProLiantServers-Warranties>

HPE Enterprise および Cloudline サーバー

<http://www.hpe.com/support/EnterpriseServers-Warranties>

HPE ストレージ製品

<http://www.hpe.com/support/Storage-Warranties>

HPE ネットワーク製品

<http://www.hpe.com/support/Networking-Warranties>

規定に関する情報

安全、環境、および規定に関する情報については、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターからサーバー、ストレージ、電源、ネットワーク、およびラック製品の安全と準拠に関する情報を参照してください。

<http://www.hpe.com/support/Safety-Compliance-EnterpriseProducts>

規定に関する追加情報

Hewlett Packard Enterprise は、REACH（欧州議会と欧州理事会の規則 EC No 1907/2006）のような法的な要求事項に準拠する必要に応じて、弊社製品の含有化学物質に関する情報をお客様に提供することに全力で取り組んでいます。この製品の含有化学物質情報レポートは、次を参照してください。

<http://www.hpe.com/info/reach>

RoHS、REACH を含む Hewlett Packard Enterprise 製品の環境と安全に関する情報と準拠のデータについては、次を参照してください。

<http://www.hpe.com/info/ecodata>

社内プログラム、製品のリサイクル、エネルギー効率などの Hewlett Packard Enterprise の環境に関する情報については、次を参照してください。

<http://www.hpe.com/info/environment>

ドキュメントに関するご意見、ご指摘

Hewlett Packard Enterprise では、お客様により良いドキュメントを提供するように努めています。ドキュメントを改善するために役立てさせていただきますので、何らかの誤り、提案、コメントなどがございましたら、ドキュメントフィードバック担当 (docsfeedback@hpe.com) へお寄せください。このメールには、ドキュメントのタイトル、部品番号、版数、およびドキュメントの表紙に記載されている刊行日をご記載ください。オンラインヘルプの内容に関するフィードバックの場合は、製品名、製品のバージョン、ヘルプの版数、およびご利用規約ページに記載されている刊行日もお知らせください。

IP アドレスの構成

- ❗ **重要:** エンタープライズ DNS サーバーがネットワーク外部の外部 DNS 名の DNS クエリを転送しない場合、DNS サーバーを構成して、midway.ext.hpe.com と infosight.hpe.com のエントリーを追加する必要があります。将来以下の IP アドレスが変更された場合に接続の問題が発生しないよう、midway.ext.hpe.com と infosight.hpe.com の DNS 名を使用することを強くお勧めします。midway.ext.hpe.com と infosight.hpe.com のポート 443 のインバウンド通信とアウトバウンド通信のファイアウォールを開きます。ただし、ファイアウォールが DNS エントリーをサポートしていない場合は、以下の IP アドレスを開く必要があります。これらのアドレスは変更される可能性があります。

2019 年 9 月時点では、HPE InfoSight for servers との通信を許可するには、以下の IP アドレスを開く必要があります。

midway.ext.hpe.com	15.195.190.96
midway.ext.hpe.com	15.195.190.97
midway.ext.hpe.com	15.195.190.98
midway.ext.hpe.com	15.195.190.99
midway.ext.hpe.com	15.203.174.94
midway.ext.hpe.com	15.203.174.95
midway.ext.hpe.com	15.203.174.96
midway.ext.hpe.com	15.211.158.65
midway.ext.hpe.com	15.211.158.66
midway.ext.hpe.com	15.241.136.208
midway.ext.hpe.com	15.241.136.219
midway.ext.hpe.com	15.241.136.220
midway.ext.hpe.com	15.241.136.80
midway.ext.hpe.com	15.241.48.100
midway.ext.hpe.com	15.241.48.251
midway.ext.hpe.com	15.241.48.252
midway.ext.hpe.com	15.241.48.253
midway.ext.hpe.com	IPv6 アドレス 2620:0:a13:100::105
midway.ext.hpe.com	IPv6 アドレス 2620:0:a12:100::106
midway.ext.hpe.com	IPv6 アドレス 2620:0:a13:100::108
midway.ext.hpe.com	IPv6 アドレス 2620:0:a12:100::109
midway.ext.hpe.com	IPv6 アドレス 2620:0:a13:100::109
midway.ext.hpe.com	IPv6 アドレス 2620:0:a12:100::110
midway.ext.hpe.com	IPv6 アドレス 2620:0:a13:100::110
midway.ext.hpe.com	IPv6 アドレス 2620:0:a12:100::111